

堺泉北港 汐見 3 号岸壁 予防保全事業 (令和元年度当初予算額 400,000千円) (別途、債務負担行為 400,000千円)

- 堺泉北港 汐見 3 号岸壁は府営港湾の主力貨物である合板を取り扱っており、その約 5 割が当岸壁を利用する非常に重要な岸壁である。しかしながら、コンクリートの剥離などの老朽化が激しくなっており、岸壁の一部区間については現在、利用制限をかけている状況。早急に補修を行う必要があることから、平成 26 年度より岸壁上部工の更新事業に着手している。

堺泉北港 泉大津大橋 耐震化事業 (令和元年度当初予算額 420,000千円) (別途、債務負担行為 470,000千円)

- 災害時における緊急物資等の輸送ネットワークを維持するため、耐震強化岸壁につながる泉大津大橋について、必要な耐震化事業を実施し、安心・安全の確保につなげる。

堺泉北港 助松地区 助松 8 号岸壁 浸水対策事業 (令和元年度当初予算額 : 3,000千円)

- 平成30年台風21号を踏まえ、堺泉北港において、外貿コンテナターミナルである助松第 8 号岸壁の電源設備浸水防止対策を実施し、被災時の機能維持を図る。【3か年緊急対策】

港湾・海岸施設の維持補修 (令和元年度当初予算額 : 1,659,430千円)

- 平成27年 3 月に策定した大阪府都市基盤施設長寿命化計画に基づき、老朽化が進む岸壁・橋梁等について長寿命化を基本とした計画的・効率的な維持補修を行う。

南海トラフ巨大地震に対する堤防等の耐震対策 (令和元年度当初予算額 : 2,784,000千円) (別途、債務負担行為 300,000千円)

- 5 か年対策箇所 (第一線防潮ライン (海域に直面) 【緑実線】) は、平成30年度末で津波浸水対策を完了。
- 10 か年対策箇所 (埋立地背後 (陸堤) 【緑点線】) は、5 か年対策の完了を待たず、平成30年度より工事着手(一部)を行っており、今年度も引き続き工事進捗を行っていく。【3か年緊急対策外】

海岸施設長寿命化事業 (令和元年度当初予算額 320,000千円) (別途、債務負担行為 280,000千円)

- 老朽化が進む排水機場について、計画的な維持補修を行うため、電気設備改良を実施する。

堺泉北港外 門扉・陸閘・潮位計 非常電源対策 (令和元年度当初予算額 : 66,000千円)

- 門扉・陸閘等の電力供給停止時の電源確保及び潮位計の観測体制強化 (冗長性の確保) を目的に非常電源対策を実施し、府民の安全・安心を確保する。【3か年緊急対策】